

2026年3月12日

お客様各位

特定非営利活動法人静岡県建築技術安心支援センター

平素より当法人をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当法人が利用するメールサービスにおきまして、第三者によるお客様の個人情報への不正アクセスが生じたおそれがある事象が確認されたとの報告がありました。

同事象につき、システムの運用を委託していた委託先ベンダ（（株）TOKAI コミュニケーションズ）が外部専門機関と連携して実施した調査において、現時点で確認された内容を踏まえ、下記のとおりご報告いたします。

お客様には多大なるご迷惑をおかけしており誠に申し訳ございません。あらためて、深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

当法人が利用するメールサービスのシステムの運用を委託していた委託先ベンダから、不正アクセスの疑いを検知し、調査の結果、サーバ機器の脆弱性が悪用され、情報漏洩があった旨の報告を受けました。

その経緯は次のとおりです。

まず、初動調査により、第三者による不正アクセスとみられる痕跡を確認されたことから、委託先ベンダ及び外部専門機関において、影響範囲の特定および原因調査を開始しました。

また、委託先ベンダにおいて、2025年12月8日には個人情報保護委員会へ相談を開始するとともに、同月18日に警察へ報告を行いました。

外部専門機関による調査の結果、攻撃者は不正アクセス発生時点では未発見の脆弱性を悪用して一部サーバに不正アクセスを行ったことが確認されました。

2026年1月22日、外部専門機関の調査の結果、不正アクセスの範囲が判明し、同月27日、当法人は委託先ベンダから調査結果の報告を受けました。

2. 個人情報の漏えいの可能性の状況

(1) 原因

上記のとおり、委託先が管理するメールサービスのサーバ機器の脆弱性を悪用し、第三者による不正アクセスが行われたことが原因と考えられます。なお、2026年1月15日に

サーバ機器の提供ベンダであるシスコシステムズ合同会社が修正済みソフトウェアを公開しており、委託先ベンダにおいて復旧作業を進めております。

※Cisco Secure Email Gateway および Cisco Secure Email & Web Manager に対するサイバー攻撃に関するレポート

https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/csa/2025/cisco-sa-sma-attack-N9bf4.html

(2) 個人情報の漏えいの可能性があるお客様

お客様について、第三者に閲覧された可能性のある情報は以下のとおりです。

・2025年11月11日から2025年12月7日の間（開始日は隔離されたメールの保管期限から判断）において当法人が受信したメールのうち、迷惑メールと判断され、迷惑メール隔離サーバに隔離されたメールに含まれるメールアドレス及びメールの内容

現時点で、本件に起因するお客様の個人情報を用いた不正利用等の二次被害については、確認されておられません。

3. お客様へのお願い

当法人では、委託先ベンダと連携し、個人情報の不正利用防止に向けた対策を講じております。お客様におかれましても、誠に恐縮ではございますが、引き続き身の覚えのない不審な連絡には応答されないよう、十分ご注意ください。

4. 本件に関するお問い合わせ窓口

特定非営利活動法人静岡県建築技術安心支援センター

副理事長 渋谷 信明

電話 054-275-0030